

公告第10号

入札公告兼入札説明書

次のとおり条件付き一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6の規定より公告する。

令和7年5月2日

湯沢雄勝広域市町村圏組合
管理者 佐藤 一夫

1 入札に付する事項（調達物品）

- (1) 物品の名称 皆瀬分署 災害対応特殊救急自動車
- (2) 納入場所 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
- (3) 納入期限 令和8年3月27日
- (4) 予定価格 有（事前公表は行わない）
- (5) 最低制限価格 無

2 入札参加資格

次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 本組合物品購入等競争入札参加資格者登録要綱（平成31年告示第6号）第5条第1項に定める物品等入札参加資格者名簿の「消防車両」及び「管理医療機器」の営業種目に登録されていること。
- (3) 入札参加資格の確認申請の提出期限の日から落札の決定の日までにおいて、本組合物品購入等入札参加資格者指名停止基準（平成31年訓令第7号）第2条第1項による指名停止を受けていないこと。
- (4) 購入物品に不具合等が生じた場合、原則、即日に対応が可能であること。
- (5) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立中又は更生手続中でないこと。
- (6) 民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立中又は再生手続中でないこと。
- (7) 医療品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第39条第1項の規定による高度管理医療機器等の販売業の許可を受けていること。
- (8) 社会保険に加入し、かつ、社会保険に滞納がない者であること。ただし、法令の規定により適用を除外されている者は、この限りでない。

3 入札参加資格の確認

入札に参加しようとする者は、次により競争入札参加資格確認の申請を行うこと。

(1) 提出書類

競争入札参加資格確認申請書（様式第1号）

(2) 提出期限 令和7年5月19日 午後4時まで

(3) 提出先 〒012-0827

秋田県湯沢市表町三丁目3番14号

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 総務課

(4) 提出方法 持参又は郵送による。ただし、郵送の場合は、送達の実事が確認できる方法（「書留」・「簡易書留」・「配達証明」・「レターパックプラス」）に限る。

(5) 入札参加資格の確認

入札参加資格の確認は、開札後に、原則として、落札者とするための確認を行う必要がある入札参加者（以下「落札候補者」という。）について行い、その他の者については確認を行わないものとする。

(6) 入札参加の辞退

入札参加資格確認申請書等を提出した者は、当該申請書等を提出したあと落札者が決定されるまでの間において、入札参加を辞退することができる。この場合、入札辞退届（様式任意）を速やかに提出しなければならない。

なお、入札辞退届を提出したあと、当該届の撤回（同一入札案件に参加すること）はできないものとする。

また、入札日時に遅れた場合、本件入札を棄権したものとみなす。

4 設計図書等の閲覧

本件入札に係る仕様書、図面及び金額を記載しない内訳書（以下「設計図書等」という。）は、本組合ホームページに掲載する。

本組合ホームページ <http://www.yutopia.or.jp/~yokoiki>

5 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

湯沢市の規則を準用する規則（平成9年規則第5号）において準用する湯沢市財務規則（平成17年湯沢市規則第49号。以下「財務規則」という。）第104条第1項第3号の規定により免除する。

(2) 契約保証金

財務規則第123条の規定による。

6 質問及び回答

本件入札に関する質問がある場合は、書面で提出すること。

(1) 提出方法 件名を「皆瀬分署 災害対応特殊救急自動車に関する質問書」としたFAX又は電子メールで提出すること（様式任意）。

- (2) 提出先 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
FAX番号 0183 - 73 - 0734
E-mail yuzawafd@yukoiki.or.jp
- (3) 受付期間 令和7年5月15日 午後4時まで
- (4) 回答 令和7年5月19日 午後5時までに、本組合ホームページで公表する。

質問に対する回答は、仕様書と同等の効力を有するものとする。

7 入札に関する事項

- (1) 入札日時 令和7年5月22日 午後2時
- (2) 入札場所 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防庁舎 2階講堂
- (3) 予定価格 事後公表とする。
- (4) 最低制限価格 設定しない。
- (5) 入札書の提出及び開札の方法等
- ア 入札に参加する者（代理人を含む。）は、入札書（様式ア）を持参し提出するとともに、開札に立ち会うこと。なお、入札書は封入を要しない。
- イ 代理人が入札を行う場合は、入札前に委任状（様式イ）を提出すること。
- ウ 開札は、入札終了後、直ちに行う。
- エ 入札執行回数は、①2回（予定価格事後公表）②1回（予定価格事前公表）とする。
- オ 入札書の書き換え及び撤回はできない。
- カ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（その額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）をもって落札金額とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望額の110分の100に相当する額を入札書に記載すること。
- キ 開札の結果、入札参加者が1者であった場合であっても、入札を執行するものとする。
- (6) 応札物品届出書の提出
- 応札物品届出書を、1回目の入札に際し、入札書の提出方法に準じて提出するものとする。

8 落札者の決定方法

- (1) 予定価格の制限の範囲内で入札した者（最低制限価格を設けた場合にあっては予定価格の制限の範囲内で最低制限価格以上の価格をもって入札した者）のうち、入札価格が最も低い者を落札候補者とする。この場合において、入札価格が最も低い者が2人以上であるときは、次に定めるくじの方法により順位を決定し、最上位者を落札候補者とする。
- ア 初めにくじにより落札者を決定するくじを引く順番を決め、その順番で落札者を決定するくじを引かせる。

イ 前項の場合において、当該入札者のうち、くじを引かない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のない職員にくじを引かせ順位を決定する。

- (2) (1)の落札候補者について入札参加資格の確認を行い、資格を有することが確認された場合であって次のいずれかにも該当しないときは、当該落札候補者を落札者とする。

ア 落札候補者の入札価格によっては契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき

イ 落札候補者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるとき

- (3) (2)によって落札者が決定しなかった場合は、予定価格の制限の範囲内で入札した者のうち、入札価格が当該落札候補者の次に低い者（該当する者が2人以上である場合は、(1)後段の方法により最上位者を決定する。ただし、当該落札候補者がくじにより決定された者である場合は当該くじの次順位者とする。）を落札候補者とし、(2)の確認等を行うものとする。

- (4) 落札者が決定するまで、上記方法を順次繰り返すものとする。

- (5) 管理者は、(2)において入札参加資格を有しないことと決定したときは、資格なしと決定された理由を明らかにした競争入札参加資格確認結果通知書を当該落札候補者に通知するものとする。この場合において、入札執行者は口頭により通知することができる。

- (6) (5)の通知を受けた者は、当該通知の日の翌日から起算して2日（湯沢雄勝広域市町村圏組合の休日を定める条例（平成3年条例第17号）第1条第1項に規定する休日（以下「休日」という。）を含まない。）以内に、管理者に対して書面により資格なしと決定された理由についての説明を請求することができる。なお、(5)の通知を受けた者は、当該請求をしなかった場合にあつては、入札結果の公表が行われた日の翌日から起算して10日（休日を含まない。）以内に、管理者に対して苦情の申立を行うことができる。

9 入札の無効

- (1) 入札参加資格を有しない者のした入札
- (2) 入札保証金を納付させる場合、入札保証金を納付しない者又はその金額に不足のある者のした入札
- (3) 同一の入札について、2以上の入札をした者の入札
- (4) 同一の入札について、2人以上の入札者の代理人となった者のした入札
- (5) 同一の入札について、他の入札参加者の代理人となった者の入札
- (6) 談合その他不正行為により入札を行ったと認められる入札
- (7) 入札書の記載事項が脱落し、若しくは不明瞭で判読できない入札、又は金額を訂正した入札
- (8) 委任状を提出しない代理人のした入札
- (9) 記名押印を欠く入札
- (10) 入札書において、記載されている入札日の日付が入札公告に示す入札執行日の日付と異なる又は日付の記載がない場合
- (11) 入札書を提出した者のうち開札に立ち会わなかった者のした入札

- (12) 開札から落札決定までの間に、入札参加資格要件を満たさないことが確認された者のした入札
- (13) 1 回目の入札に際し応札物品届出書を提出しなかった者のした入札又は提出された応札物品届出書が次のいずれかに該当する者のした入札
 - ア 提出者の商号若しくは名称の記載がないもの又は記載に誤りがあるもの
 - イ 物品名の記載がないもの又は記載に誤りがあるもの
 - ウ メーカー、品名・形式又は数量の記載がないもの
- (14) 上記に定めるもののほか、法令又は入札に関する条件に違反すると認められる入札

10 落札決定後の手続等

- (1) 本件入札に係る契約の締結には、本組合議会の議決を要するため、議決されるまでの間、仮契約を締結する。
- (2) 落札者は、落札決定後 7 日以内に、本組合との間に仮契約を締結するものとする。

11 その他

- (1) 入札に関する説明会及び現場説明会は実施しない。
- (2) 入札参加資格に関するヒアリングは実施しない。ただし、必要と認めた場合には説明を求めることができる。
- (3) 納入期限は、諸事情により変更することがある。
- (4) 入札参加者は、設計図書等を熟知し、入札に当たっての留意事項を遵守しなければならない。
- (5) 天変、地変その他やむを得ない事由が生じたときは、入札の執行を延期し、又は取りやめることがある。
- (6) 落札決定から契約締結までの間において、落札者が本公告の 2 に掲げる要件を満たさないこととなった場合は、管理者は、当該落札者と契約を締結しないことができる。
- (7) 本公告に定めのない事項については、地方自治法、地方自治法施行令、財務規則その他入札に関する規定による。

消 防 長		次 長		課 長		班 長		班 員		検 算		設 計	
物 品 の 名 称 皆瀬分署 災害対応特殊救急自動車 金抜き設計書													
物 品 番 号 納 入 場 所 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部													
仕 様 概 要													
規 格 仕様書のとおり 数 量 1 台 納 入 期 限 令和8年3月27日 設 計 額													

皆瀬分署 災害対応特殊救急自動車

合計金額 ¥ -

品名	数量	金額	備考
高規格救急自動車			
(1) . 車両本体(寒冷地仕様込)	1台		別紙内訳
(2) . 取付品及び付属品	1式		別紙内訳
(3) . 車両艀装関係	1式		別紙内訳
(4) . 車両付属品	1式		別紙内訳
(5) . 携帯電話	1式		別紙内訳
小計			
消費税 (10%)			
合計			

1) 車両本体

品 名	規格・形式(又は同等品以上)	数 量	単 位	備 考	単価	販売価格
車両本体 4WD		1	台			
LEDヘッドランプ	オートレベリング機能付	1	式	標準装備		
寒冷地仕様		1	式			
小 計						

2) 取付品及び付属品(軽微な変更として備えることが出来るものを含む)

品 名	規格・形式(又は同等品以上)	数 量	単 位	備 考	単価	販売価格
メインストレッチャー(エクステンジ)	4080-S	1	台	メインストレッチャーとの差額		
サブストレッチャー	4155	1	台	メインストレッチャーに含む		
マットレス	抗菌マットレス	1	枚	メインストレッチャーに含む		
点滴用ガードル架キット	モデル4155用IVポール	1	器	ガードル架1、マウント2付属		
点滴用ガードル架取付ベース		1	式	ポールマウント追加2個分		
サイドアームリリースシンケージシステム	両側	1	式	メインストレッチャーに含む		
サイドアームプレート	カバー付き(両側)	1	式	メインストレッチャーに含む		
バイオセーフストラップ	日本船舶FW-1901-183	2	式			
ソフンビロー		2	個			
防振架台(磁気スイング式)	R410-FB17	1	台	標準装備との差額分		
電子サイレンアンプ	N160-CP01	1	式			
赤色警光灯(フロント・リア)	大型LED散光式	2	式	標準装備		
酸素ボンベ	9.4Lアルミ	2	本			
車両用減圧弁		1	式			
三方チーズ		1	個	加湿流量計に含む		
加湿酸素流量計	オキシパックOX-ⅢS	1	式			
人工呼吸器	メデュマット・イージーCPR	2	個	予備含む		
メデュマット・イージーCPR用ハンドル付着脱金具	メデュマット・イージーCPR用	1	個			
車内取り付け器具	メデュマット・イージーCPR用車内取り付け器具	1	式			
吸引器(パワーミニックⅡ)		1	台	12V充電100V変換器付		
エアーウェイ		1	式	大小各2個		
開口器		1	個			
消火器		1	本	標準装備		
車両動態連動散光式警光灯装置	M150-TM02	1	式			
デジタルインナーミラー		1	式	標準装備		
小 計						

3) 車両艗装関係

品 名	規格・形式(又は同等品以上)	数 量	単 位	備 考	単価	販売価格
患者室フィルム貼付	A620-UD09,A620-UD15,A620-UD6	1	式	左全面・後全面くもりフィルム、右全面白色フィルム		
外部救助資器材収納ボックス取付	※救助資器材不要	1	式			
消防章(マーク)	A110-GM01	1	式			
フォグランプ取付		2	個	標準装備		
旗立てパイプ取付	A210-GL01 ステンレス製	1	式			
フロントコーナーセンサー	M410-BM03	1	式			
バックブザー取付	N410-FS03 音声式・解除スイッチ付	1	式			
フロントアンダーミラー		1	式	標準装備		
運転席助手席サイドバイザー		1	式			
ルーフサイド及びバックドアLED作業灯取付	M230-TN07、M230-GU08/LIA-200	5	灯			
ハイマウントストップランプ、停止表示灯		1	式	標準装備		
リアバンパープロテクター(アルミ縞板製)	A720-BU02	1	式			
外部AC入力コンセント取付	ワンタッチ式	1	式	標準装備との差額分		
外部AC入力ケーブル	10m:P710-0001	1	式			
カーナビ及びバックガイドモニター	N710-CP29 T-Connectナビ	1	式	パノラミックビューモニター		
車体外周赤色反射テープ		1	式	再帰性に富んだ反射材		
車体外周赤色反射テープ上部青色テープ		1	式	再帰性に富んだ反射材		
車体両側面ルーフ部赤色反射テープ		1	式	再帰性に富んだ反射材		
車体両側面下部赤色反射テープ		1	式	再帰性に富んだ反射材		
車体後面下部赤色反射テープ		1	式	再帰性に富んだ反射材		
防錆塗装		1	式			
文字及びロゴ(カッティングシート)		1	式	指示書のとおり		
文字貼り替え(カッティングシート)		1	式			
バッテリー	120Ah以上	1	式	標準装備		
全自動バッテリー充電器取付	P130-RS04	1	式			
オルタネーター	12V140Ah以上	1	式	標準装備		
電源改造	P510-RS10,P510-RS11	1	式	DC12V電源改造、AC100V電源改造		
後部ドア赤色LED点滅灯	小糸製作所製	2	灯	LED作業灯に含む		
フロントバンパー赤色LED点滅灯	大阪サイレン製 LFA-150	2	灯			
フロントバンパー左右赤色LED点滅灯	大阪サイレン製 LFA-100	2	灯			
ルーフサイド左右前後赤色LED点滅灯	大阪サイレン製 LFA-160	4	灯			

品 名	規格・形式(又は同等品以上)	数 量	単 位	備 考	単価	販売価格
ステアリングスイッチ・フレキシブルマイク(運転席部)	N350-CP01	1	式			
サイレン音切り替えスイッチ	助手席側増設	1	式			
メッセージスイッチ増設		1	式	音声合成:隊長席		
無線アンテナ引き込み部分加工	樹脂製、耐候性防水ブッシュ	1	式	無線機載せ替え艙装に含む		
無線アンテナ点検口		1	式	標準装備		
AVM-GPSアンテナ点検口	N820-TN01	1	式	AVM用電源端子		
無線子機用配線	患者室フレキシブルチューブ	1	式			
無線モニタースピーカー(患者室)取付	S410-HM08	1	式			
無線アースボンディング	P810-GM01	1	式			
無線機載せ替え艙装	電源・配線等関連一式	2	式			
後部座席用無線ハンドマイク取付	※受信側カット	1	式	無線機載せ替え艙装に含む		
AVM載せ替え		2	式			
患者室車外設定端末装置(AVM車外端末装置)		1	式	AVM載せ替えに含む		
運転席 電流・電圧計取付	N510-CP01	1	式			
無線機・AVM取付用ブラケット(Ⅰ型)	N810-CT02	1	式	運転席～助手席間、ハンドセットは運転席側		
運転席助手席間にA3サイズ地図入れBOX	D110-CT15	1	式			
ヘルメット収納用フック		1	式	縦型収納庫扉上段2ヶ、パーテーションボード1ヶ		
運転席後部収納庫		1	式	標準装備		
助手席上部LEDランプ	M310-HM11	1	式			
ドライブレコーダー	前後2カメラ N720-CP21	1	式	取付費込		
運転席助手席間上部ラテックスグローブ等固定ベルト	D110-HM51	1	式			
ETC車載器	N720-CP20	1	式			
ヘッドバット		1	式	標準装備		
患者室の座席	2人掛け	1	式	標準装備		
横向き2人掛け席シートベルト取付		1	式	標準装備		
バックドアスポットライト		1	式	標準装備		
患者室LED室内灯(調光機能付)	M320-RU07	1	式	前後切り替え可、運転室メインスイッチ付		
患者室患者灯(調光器付)	M320-HM02	1	式			
患者室天井アシストグリップ	D710-HN05	1	式			
患者室右側前後アシストグリップ	D710-HR01,D710-HR07	1	式			
患者室天井ルーフネット取付	D510-HN16,D510-HN10	1	式	左側前後ロング、右側前部		
患者室内デジタル時計取付	L410-RK11	1	式			
車載用ポータブル冷蔵庫	Bonarca 9L	1	個			
患者室左側前部2段収納庫(パーテーションボード付)	G110-SL12	1	式	2段収納庫		
助手席後部パーテーション		1	式			
インバーター取付	100V変換	1	式			
インバーターAC100V出力コンセント2口	P620-RU09	1	式	縦型収納庫後面部		
DC12Vコンセント3口	P610-RD04	1	式	右窓下部		
患者室上部扉付大型収納庫取付	D110-HR01,08,E410-HR07	1	式	ルーフサイド収納庫:右前・後(鍵付)、左前		
患者室梯状副子収納庫取付	D410-HL04	1	式	レザー収納袋 左後ルーフサイド		
患者室右側前部縦型収納庫内部	D110-RU59,RU64	1	式	棚板3段。敷板はフラット。		
患者室右側前部縦型収納庫扉内側ネットシェルフ	D510-RU14	1	式	ネットシェルフ2段		
患者室右側前部縦型収納庫扉外側書類収納庫	D110-RU62	1	式			
患者室右側前部縦型収納庫扉外側吸引カテーテル収納袋	R410-RU01	1	式			
患者室ホワイトボード取付	K710-RU11	1	式	患者室右側前部		
患者室右側前部3連固定ベルト+小物入れ取付	D330-RD01	1	式			
点滴ビン固定装置 天井	E620-HN04,HN05	1	式			
バックボード、スクープストレッチャー固定装置取付	R650-RB04	1	式			
患者室右側後部収納庫	D111-RH10	1	式			
酸素ボンベ収納庫 9.4L×2本取付対応改造		1	式			
酸素配管		1	式	2)取付品付属品の加湿流量計に含む		
C型バネ付フック	E610-HN02,E610-RK01	1	式	天井部5個、右窓上レールに5個		
ダストボックス搭載		1	式			
書類入れ改造	E210-RD03	1	式	酸素ボンベ収納庫部		
定置型吸引器取付	PSP-80+吸引瓶WS-1400	1	式	右側前面		
バックドア左側アシストグリップ	D710-UD09	1	式			
汎用メディカルボール	E640-RB01	1	式	輸液ポンプ固定用		
※半自動除細動器台座	F110-RB31	1	式	ZOLL-Xシリーズ		
サイドフラッシャーランプをルーフサイドに取付		2	灯			
LED路肩灯		2	灯			
助手席用インナーミラー		1	式			
スピーカー防雪カバー取付	N140-BM02	1	式			
右左折メッセージメインスイッチ取付	N330-CP05	1	式			
AVM用電源端子取付	N820-LS18	1	式			
引き出し内緩衝材取付	E510-RD01	1	式			
小 計						

4) 車両付属品

品 名	規格・形式(又は同等品以上)	数 量	単 位	備 考	単価	販売価格
スタッドレスタイヤ	アルミホイール付	5	本			
フロアゴムマット		1	式			
スノーマット		1	式			
スノーワイパー	フロント・リア	1	式			
停止表示板		1	式			
車輪止め		1	式			
予備電源ヒューズ		1	式			
訓練旗	30×45cm	1	枚	白地に赤文字「訓練」		
小 計						

5) 携帯電話

品 名	規格・形式(又は同等品以上)	数 量	単 位	備 考	単価	販売価格
ハンズフリー・ヘッドセット	Bluetoothヘッドセット	1	式	※別途協議(最新式)		
小 計						

合 計						
消費税 10%						
合計(税込み)						

令和 7 年度

皆瀬分署

災害対応特殊救急自動車更新仕様書

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

第1 総 則

1 目 的

この仕様書は、湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部（以下「本部」という。）が、令和7年度購入する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。

尚、本仕様書は公平な入札を行う為のもので、記述内容によって特定のメーカーを指名するものではない。従って記述内容に抽象的表現があるが、受注者は、一方的な解釈をすることなく、発注者と綿密な打ち合わせを行い、最新の救急車を納入すること。

2 概 要

(1) この救急車は、令和7年度に公表製作されたものであること。

本救急車は、高規格救急車として製作されたものを基本とするほか、必要な資器材、取付け品及び付属品等装備する他、この仕様書を充分満足し得るよう艤装するものとする。

(2) この仕様書の記載事項について、変更しようとするときは、理由書及び図面を付して本部の承認を得ること。

(3) 納入台数、納期及び納入場所は次のとおりとする。

ア 納入台数	1 台
イ 納 期	令和8年3月27日
ウ 納入場所	本部

3 適合法令

車両は、次の基準に適合するものとする。

- (1) 道路運送車両法
- (2) 道路運送車両の保安基準
- (3) 消防関係法令等に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

4 提出書類

(1) 救急車の製作前に次の書類を提出し、本部の承認を得ること。なお、書類の提出は契約後1か月以内とする。

ア 救急車の価格内訳書及びシャシの主要諸元表	2 部
イ 作業工程表	2 部
ウ 承認図	2 部

(2) 完成車納入時の提出書類は、次のとおりとし、ア～キまでを1冊の簿冊とし3部提出すること。

ア 自動車取扱説明書
イ 付属品、装備品取扱説明書（コピー複製1部含む）
ウ シャシのパーツリスト表
エ 緊急自動車届確認書
オ その他当本部で指示したもの（外装5面図）
カ 完成図
キ 承認図

5 検 査

(1) 中間検査

本部職員の立会いは行わず、架装完了時の状態を撮影したものにより本部の承認を受けること。この検査で不合格と認められた箇所については、速やかに改善し再検査を受けるものとする。(撮影必須については別途指示)

(2) 納入検収及び新規登録検査前検査

本部が指定する装備品、積載品、附属品について、本部検査員の検収を受けること。日時場所等は別途指示する。

また、車両について国土交通省の行う新規登録検査前に下記の項目について、本部検査員の行う検査を受けること。日時場所等は別途指示する。

ア 艀装施工状況

イ 塗装等施工状況

ウ 防錆施工状況

エ 装備品取付状況(無線機、AVM載せ替え含む)

オ 資器材積載状況及び車両重量状況

(3) 完成検査

本部職員の立会いの下、本部で行うものとする。

6 保 証

保証期間は、車両納入後1年とし、メーカーの保証期間が1年以上に及ぶ場合はその期間とする。ただし、保証期間以後といえども設計不良、又は、工作不良に起因する不都合が生じた場合は、受注者が部品の交換、修理を無償で行うこと。

7 費用及び登録

車両完成後、東北運輸局秋田運輸支局長が行う新規登録検査の為の手続きを代行し当該検査(仕様書に記載の救急資器材を積載した状態で車両重量測定を行う。)を受けた後、納入すること。

(1) 自動車新規登録の手続きは受注者側とし、費用は、発注者側が負担する。

(2) 改造又は変更部分の検査に要する費用は、受注者側が負担すること。

(3) 自動車賠償責任保険料、自動車重量税、リサイクル料金は、発注者側が負担する。

8 その他

(1) 本仕様書は、救急車の車両に係る仕様書であり、原則的には医療器具本体は含まないものである。

(2) 資器材を積載した状態で車両総重量及び軸重が車両許容限度重量を超えないようにすること(別途協議)。

(3) 受注者は、医療器具納入業者と連絡を密にして、使用に支障を来たさぬよう医療用具の架台を取付けすること。

(4) 仕様書の内容に関して疑義等が生じたときは、本部と協議の上、決定すること。

第2 仕様

1：車両主要諸元

※ 下記の車両のいずれかとする。

1 この救急車の主要諸元は、次に掲げるものとする。

- | | | |
|------|-----------------|---------------------|
| (1) | 車両型式 (トヨタ) | 3BF-TRH226S-QFTDK-H |
| (2) | エンジン | ガソリンエンジン |
| (3) | 総排気量 | 2,693cc |
| (4) | 最高出力 | 160PS |
| (5) | 変速装置 | 6速オートマチック |
| (6) | 駆動方式 | 4輪駆動方式 (フルタイム) |
| (7) | タイヤ (夏用) | ラジアルタイヤ |
| (8) | ステアリング | パワーステアリング |
| (9) | 車両寸法 | |
| | 全長 (LED 警光灯部除く) | 5,600mm |
| | 全幅 | 1,895mm |
| | 全高 | 2,490mm (アンテナ含まず) |
| (10) | 患者室寸法 | |
| | 室内長 | 3,560mm |
| | 室内幅 | 1,730mm |
| | 室内高 | 1,850mm |
| (11) | 乗車定員 | 7人 |

2 この救急車の主要諸元は、次に掲げるものとする。

- | | | |
|------|-----------------|-------------------|
| (1) | 車両型式 (日産) | QR25DE |
| (2) | エンジン | ガソリンエンジン |
| (3) | 総排気量 | 2,488cc |
| (4) | 最高出力 | 147PS |
| (5) | 変速装置 | 7速オートマチック |
| (6) | 駆動方式 | 4輪駆動方式 (パートタイム) |
| (7) | タイヤ (夏用) | ラジアルタイヤ |
| (8) | ステアリング | 油圧パワーステアリング |
| (9) | 車両寸法 | |
| | 全長 (LED 警光灯部除く) | 5,330mm |
| | 全幅 | 1,880mm |
| | 全高 | 2,490mm (アンテナ含まず) |
| (10) | 患者室寸法 | |
| | 室内長 | 3,320mm |
| | 室内幅 | 1,730mm |
| | 室内高 | 1,850mm |
| (11) | 乗車定員 | 8人 |

2：車体艤装

- 1 この救急車の艤装に当たっては、最新の技術を導入し、機構堅牢耐久性に富み操作の簡便性及び救急業務に適した性能が発揮できること。
- 2 救急業務実施基準（昭和39年3月3日付自消甲教発第6号通知）第10条に定める用件に適合するものであること。
- 3 車体は、全有蓋で密閉式構造であること。
- 4 車内の照明は、傷病者の観察及び救急隊員の業務遂行に支障のない照明度を有するものであること。
- 5 車体後部は、ストレッチャーの搬入が容易に行うことができること。
- 6 ベッド（ストレッチャーを含む）は、走行中に振動、移動を生じないような構造で安全確実に固定できる装置を備えていること。
- 7 救命処置用資器材等の収納及び取付けは、その資器材の性能を損なうことなく、安全確実に積載できるものであること。
- 8 運転室及び患者室に十分な冷暖房機能を有するエアコンを設けること。
- 9 緩衝装置は、救急資器材及び傷病者情報伝達資器材を用いた業務の遂行に支障のないものであること。
- 10 電装品に使用する配線は、天井及び壁体内等に布設し、電子機器等に障害を生じない処置を施すこと。
- 11 患者室の窓ガラスは、右全面白色、左全面及び後全面くもりとする。
- 12 車両側面外部から開閉が可能な救助資器材収納ボックス（施錠装置付き）を取付け、内部には救助資器材（バール、万能斧、ガラスカッター、シートベルトカッター、レスキューハンマー）取付け装置を設けること。
- 13 フロント中央に150mmの消防章を取付けること。
- 14 フロントにフォグランプを2個取付けること。
- 15 旗立てパイプを車両左側に取付けること。（ステンレス製）
- 16 フロントコーナーセンサーを取付けること。
- 17 バックブザー（音声式・解除スイッチ付）を取付けること。

- 18 フロントにアンダーミラーを取付けること。
- 19 運転席助手席にサイドバイザーを取付けること。
- 20 ルーフサイド左右に2灯ずつ、後部に2灯、赤色警光灯付LED作業灯（スイッチ付）を設けること。
- 21 後部ドアにハイマウントストップランプ、停止表示灯（点滅式）を設けること。
- 22 リヤバンパープロテクターを取付けること。（アルミ縞板製：ストレッチャーの当たる部分を二重とすること）
- 23 運転席ドア後部付近の運転席開閉に支障のない位置に、外部AC（100V）入力コンセント（蓋付）を取付けること。（ワンタッチ式 - 90度回転ロック：10mケーブル）
- 24 カーナビゲーション+地上デジタル放送12セグTV（アンテナ含む）+バックガイドカメラ（全方位）を取付け、次のとおりとすること。
 - （1） ナビゲーション対応ブラケットを取付けること。
 - （2） 後部にバックガイドカメラ、インストールパネル内にモニターを埋め込み取付けること。
 - （3） バックガイドモニターはバックギヤに連動すること。
- 25 塗装関係は次のとおりとする。
 - （1） 車体塗装は、白色とし、錆落とし及び清掃洗浄を完全に行い、上質塗装で入念に吹き付け仕上げをすること。

尚、車体外周、車体両側面ルーフ部及び下部並びに車体後面下部に赤色反射テープ（再帰性に富んだ反射素材）を施工すること。そのうち、車体外周両側面及び後面の赤色反射テープ上部に青色反射テープ（再帰性に富んだ反射素材）を施工すること。
 - （2） 道路に散布された凍結防止剤等による車体下部の腐食に耐え得るよう、防錆処理を実施すること。
 - （3） 車体に文字とマークを記入すること（指示書）
 - ア 車体前面（指示書NO.1）
皆瀬救急
 - イ 運転席助手席ドア（指示書NO.2）
皆瀬救急
 - ウ 車体両側面（指示書NO.3）
湯沢雄勝広域市町村圏組合マーク
AMBULANCE
 - エ 車体両側面ドア中央（指示書NO.4）
スターオブライフマーク
 - オ 車体両側面後部（指示書NO.5）
湯沢雄勝広域消防本部
AKITA YUZAWA-OGACHI AREA
 - カ 車体後面（指示書NO.6）
湯沢雄勝広域市町村圏組合マーク

AMBULANCE

湯沢雄勝広域消防本部

AKITA YUZAWA-OGACHI AREA

皆瀬救急

スターオブライフマーク（ウインドウ）

キ 対空表示記入（指示書N0.7）

「秋田 湯沢 A7」

ク 字体

指示書のとおり

ケ 施工

反射式カッティングフィルム（再帰性に富んだ反射材）

(4) 旧車両前後の救急隊名の貼り替え（別途協議）

26 バッテリー、オルタネーター

- (1) バッテリー容量は、12V-120AH以上とすること。
- (2) バッテリーは、外部から容易に点検及び充電できる構造を有し、全自動バッテリー充電器を付属すること。
- (3) オルタネーター容量は、現在の最大能力のものとし、車両及び救急機器の使用に十分な発電能力を有すること。
- (4) 外部入力電源により、バッテリー充電器、モニター、各コンセント（12V・100V）に接続すること。

27 赤色灯、赤色点滅灯

- (1) 前後部ルーフの赤色灯は、車両動態連動式大型LED警光灯を取付けること。
- (2) 後部ルーフ左右に、大型LED警光灯を取付けること。
- (3) フロントバンパー前面上部にLED警光灯（大阪サイレン：LFA-150）を2灯取付けること。
- (4) フロントバンパー前面左右に赤色LED点滅灯（大阪サイレン：LFA-100）を2灯取付けること。
- (5) ルーフサイド左右前後に、赤色LED点滅灯（大阪サイレン：LFA-160）を4灯取付けること。（前は削除 ActiBEACON との併設不可）

28 サイレンアンプ（音声合成機能付）

- (1) 電子サイレンは、音声方向指向内蔵型50W×2個のピーポー音、ウー音の2式で、拡声装置は車両前部に取付け、赤色灯と連動すること。
- (2) フレキシブルマイクを運転席の操作容易な位置に取付けること。
- (3) ウー音用のスイッチを助手席側に設けること。
- (4) 各種スイッチは、運転席から容易に操作できること。
- (5) 次の音声合成を有すること。

ア 直進通過

イ 交差点通過

ウ 右左折

エ 御礼

※ア、イ、エのスイッチは、隊長席及び運転席の両側に増設し、ウのスイッチは、ウインカー

と連動させること。(トヨタ OP サイレンアップのハンドマイクにスイッチ設置あり)

29 無線関係

- (1) 消防無線機及びAVMの操作が容易かつ、エンジンルーム開閉に支障のない位置に取付けること。
- (2) 無線アンテナ及び車両情報端末装置GPSの屋外からの引き込み部分は耐候性防水ブッシング処理を施すこと。(指示書NO.8)
- (3) 無線機用電源コード、アンテナケーブル等一切を配線すること。
- (4) アンテナベース位置の室内天井張りに、無線及びAVM-GPS用の点検用蓋を設けること。
- (5) 無線機本体より、助手席後部にフレキシブルチューブを配管し、ケーブルを配線すること。
- (6) 患者室に無線モニター用スピーカーを取付けること。但し、患者室に対してのON及びOFFのスイッチを取付けること。
- (7) 無線電源は、直接バッテリーから取ること。
- (8) 無線機及び救急用機器等の障害防止を図る為、必要箇所にアースボンディング等の処理をすること。
- (9) 無線機本体は載せ替えすること。
- (10) アンテナは新品を取付けること。
- (11) 患者室用ハンドマイクは、新品を患者室右側前部壁体に取り付けること。
- (12) アンテナ取付け部の基底部を補強すること。
- (13) ノイズ対策を講じること。
- (14) アンテナシールドを施すこと。
- (15) 車両情報端末装置(AVM: 沖電気工業製)を支障のない位置に載せ替え取付けること。
- (16) 患者室用無線ハンドマイク付近に車外設定端末装置(沖電気工業製: XD337D)を取付け、動態の種類は、患者収容・現場出発・特定行為1・特定行為2・病院到着とすること。
- (17) 無線及び車両情報端末装置については、本部指定業者と協議の上艤装すること。

30 電話関係

- (1) Bluetooth携帯電話用ハンズフリーヘッドセット(最新式: 別途協議)

3 : 車内の艤装及び装備

1 運転室

- (1) 車内において隊員が運転室から、患者室に容易に移動できる構造とすること。
- (2) 運転室に取り付ける付属機器等の各スイッチは、運転席及び助手席から操作が容易な位置に取付けること。
- (3) 運転席にデジタルインナーミラーを取付けること。
- (4) 運転席に電圧及び電流計を取付けること。
- (5) 運転席、助手席間に、無線機、AVMを取付けるブラケットを設けること。
- (6) 運転席、助手席間にA3サイズ地図入れBOXを取付けること。
- (7) 運転席後部、助手席後部及び運転席後部縦型収納庫にヘルメット収納用のフックを3個

取付けること。

- (8) 助手席上部にLED灯を設けること。
- (9) 運転室内にドライブレコーダー（本体＋カメラ一体型：前後2カメラ、microSD32GB以上）を取付けること。（後カメラ部分のフィルムに切り込み入れる）
- (10) 運転席助手席間上部にラテックスグローブ固定ベルトを1式取付けること。
- (11) ETC車載器を取付けること。

2 患者室

患者室は、救命処置等を実施するうえで、支障のない空間が確保されていること。

3 ストレッチャー用積載担架及び架台

- (1) 積載架台は、磁気スイング式の防振、揺れを十分吸収できる性能を有すること。
- (2) 左右スライド機能は使用位置でロックでき、後方からもレバー操作ができること。
- (3) メインストレッチャー収納が容易で、確実に固定ができ、かつ容易に解除できること。
- (4) 心臓マッサージ等の処置を行うために、架台をロックできる装置であること。
- (5) 防振架台に着脱式のヘッドパッドを取付けること。
- (6) メインストレッチャーはエクステンジストretchャーとし、下記の機能とする。
 - ア トランスポーター（モデル4080-S）
 - イ ストレッチャー（モデル4155）
 - ウ マットレス（モデル4155専用マット）
 - エ 点滴用ガードル架（日本船舶：モデル4155用ガードル架）のマウントは頭側、足側各2個とすること。
 - オ サイドアームプレートを両側に取り付けること。
 - カ サイドアームプレートにはカバーを取付けること。
 - キ 固定ベルトは、バイオセーフストラップ（日本船舶：FW-1901-183）2ピース×2式としフレームに取付けること。

4 患者室の座席

- (1) 座席数は、患者室後向き座席、ストレッチャーの左側に1人前向き座席、2人以上横向きの座席とし、前向き座席にロック機能を取付けること。
- (2) 各座席には、シートベルトを取付けること。

5 患者室の照明

- (1) 患者室の照明は、傷病者の症状及び救急隊員の業務に支障のない照度を有すること。
- (2) バックドア上部内側にサーチライトを設け、スイッチはリアドアの開放と連動すること。
- (3) 室内灯（調光機能付）を取付けること。
- (4) 室内蛍光灯は、AC100V入電時に点灯できるよう改造し、切替えスイッチを取付けること。又は、外部入力コンセント入力時自動切替となること。
- (5) 患者灯（調光機能付）を取付けること。

6 患者室の装備

- (1) 患者室天井に手摺り棒及びブルーネットを左側前後及び右前部に取付けること。また、右側面2箇所にアシストグリップを取付けること。尚、乗車員が走行中の振動、揺れ等に十分対応できる構造とすること。

- (2) デジタル電波時計を指定する位置に取付けること。
- (3) 車載用ポータブル冷蔵庫を取付けること。また、直近に電源コンセント（AC 1 口）を増設すること。
- (4) 患者室左側前部に扉付き 1 段式収納庫を取付け、その上部に自動心臓マッサージ器固定装置を取付けること。
- (5) 助手席後部はパーティションとすること。
- (6) 電圧変換用インバーター（1 0 0 V 変換）は、シャシメーカーの最高出力の機能を有するものを取付けること。
- (7) 標準装備の電源コンセントの他に、DC 3 口、AC 2 口を取付けること。
- (8) 各種スイッチ操作は集中操作ができること。
- (9) 床は、フラットフローとし、防水・防滑構造とすること。
- (10) 蓋付大型収納庫を左前側上部に 1 個、右側前後上部に 2 個取付け、そのうち右側後部収納庫の後側は施錠装置付きとすること。
- (11) 患者室左側上部（横向き座席上部）に梯状副子（大・最大長 1 1 0 cm・中・小各 2 本）用収納ポケットを取付けること。
- (12) 運転席後部に縦型収納庫を取付け、その内部に 3 段棚板を取付けること。又、室内側の扉内側にネットシェルフを 2 段及び扉外側に書類収納庫、吸引カテーテル収納袋並びにホワイトボードを取付けること。
- (13) 患者室右側前部壁面にラテックスグローブの固定ベルトを 3 箇所取付け、その下に小物入れを取付けること。
- (14) 輸液ビン固定装置（4 本掛け）を天井面を取付けること。
- (15) スクープストレッチャーの固定装置は、患者室の右側下部に取付けること。【スクープエクセル：モデル 6 5 E X L】
- (16) バックボードの固定装置は患者室右側下部に取付けること。【日本船舶：モデル 2 0 1 0】
- (17) 患者室右側後部に 2 種類の資器材収納庫を取付けること。
- (18) 患者室内に設ける収納庫の構造は、次に掲げるものとする。
 - ア 堅牢かつ走行中の振動等による歪み、間隙及び異音等の発生がないこと。
 - イ 外面及び内面に、危害を生じ又は収容物への損害を与える恐れのある鋭利な突起物がないこと。
 - ウ 各扉及び引き出しには、走行中の振動又は内容物の移動により開放しない固定装置を設けること。
 - エ 資器材をベルトで固定する方法を用いる場合は、走行中の振動で縛着が簡単に外れない構造であること。
- (19) 患者室内にアルミ製酸素ボンベ（9. 4 L × 2 本）及び酸素ボンベ収納庫を取付けること。
- (20) 患者室右側上部に加湿流量計（オキシパック O X - III S）を取付け、9. 4 L 酸素ボンベから加湿流量計までの配管を壁面に布設すること。
- (21) C 型バネ付きフックを右側側面レールに 5 個、右側天井面照明近くに 5 個を取付けること。（計 1 0 個）
- (22) 患者室内に足踏み開放式ダストボックスを取付けること。
- (23) 患者室右側前部に A 4 サイズ以上の収納ポケットを取付けること。
- (24) 患者室右側に人工呼吸器（メデュマット・イージー C P R）及び専用ウォールマウントを取付けること。

- (25) 患者室右側に定置型吸引器（WS－1400及び吸引ポンプPSP－80）を取付けること。
 - (27) バックドア左側にアシストグリップを取付けること。
 - (28) 各種医療機器の配線は、外部に剥き出しにならないように処理すること。
- 7 資器材の収納庫は、各収納品に応じて工夫されたもので、資器材の出し入れが容易にできること。
- 8 機器の設置架台を取付けること。
- (1) 次に掲げる機器の取付け架台は、患者室の救急処置に最も適した位置に機器を固定、又は容易に取出すことができるようにし、走行中の振動等による機器の損傷を生じさせない構造とすること。
 - ア 半自動式除細動器取付台座（旭化成ゾール：ZOLL-Xシリーズ）
 - イ 定置型吸引器【WS－1400：新鋭工業株式会社】（右側側面）
 - ウ 輸液固定用メディカルポール（右側側面）
 - (2) その他詳細については、別途協議とする。
- 9 消火器（自動車用）は、車内にブラケットを設け、支障のない場所に取り付けること。
- 10 改造申請書類及び承認図作成

4：その他の付属品

- | | | |
|---|------------------------------|----|
| 1 | スタッドレスタイヤ（アルミホイール付） | 5本 |
| 2 | フローゴムマット | 1式 |
| 3 | スノーマット | 1式 |
| 4 | スノーワイパー | 1式 |
| 5 | 停止表示板 | 1式 |
| 6 | 自動車工具（車輪止め含む） | 1式 |
| 7 | 予備電源ヒューズ | 1式 |
| 8 | 訓練旗（白地に赤文字「訓練」－（300mm×450mm） | 1式 |

指示書N0. 1（車体前面：再帰性に富んだ反射材）

（助手席側：青字）

皆瀬救急

指示書N0. 2（運転席助手席ドア：再帰性に富んだ反射材）

（青字）

皆瀬救急

指示書N0. 3（車体両側面：再帰性に富んだ反射材）

（上部：マーク、文字は青縁白抜き）



AMBULANCE

指示書N0. 4（車体両側面ドア中央：再帰性に富んだ反射材）



指示書N0. 5（車体両側面：再帰性に富んだ反射材）

（青字）

湯沢雄勝広域消防本部

（黒字）

AKITA YUZAWA-OGACHI AREA

指示書NO. 6（車体後面：再帰性に富んだ反射材）

（上部：マーク、文字は青色）



AMBULANCE

（ウインドウ）



（ナンバープレート上部）

湯沢雄勝広域消防本部

（ナンバープレート右側）

皆瀬救急

（ナンバープレート下部：文字は青縁白抜き）

AKITA YUZAWA-OGACHI AREA

指示書N0.7（対空表示）

- ①縦横30cm以上
- ②原則3段
- ③車両に合わせた大きさとし、できる限り大きくする



指示書NO. 8（無線、AVM引き込み部ブッシング）

